

(疫学研究に関するお知らせ)

近畿川崎病研究会では、以下の疫学研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

近畿川崎病研究会における川崎病急性期治療成績に関する後向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学医学部小児科学講座 教授 鈴木啓之

3. 研究の目的

川崎病急性期治療ガイドラインが平成24年に改訂され、ハイリスク群におけるステロイドの初期使用が記載されたことを受けて、近畿川崎病研究会における川崎病急性期治療の実態を把握し、評価を行うことです。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

川崎病の患者さんで、2府5県（大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県、兵庫県、三重県）の医療機関で治療を受けた方で、第23回、24回川崎病全国調査（川崎病発症日が平成25年1月1日から平成28年12月31日まで）に医療機関から報告された方を対象とします。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くのは、川崎病急性期の治療内容及び治療経過、後遺障害の有無を含む情報です。

(3) 方法

川崎病全国調査事務局（自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門）から得られた情報をもとに、対象医療機関に2次調査票を送付し、治療内容や検査値などの詳細な情報を得ます。約10000名の患者さんが該当の予定です。急性期治療の内容と冠動脈病変の有無、副反応の内容についての現状の把握と評価に関して、近畿川崎病研究会急性期治療評価委員会（和歌山県立医科大学医学部小児科学教室（事務局）、京都府立医科大学小児科、関西医科大学小児科、日本赤十字社京都第二赤十字病院小児科、独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院小児科）で行う多施設共同研究です。

5. 個人情報の取扱い

今回研究に利用する情報には、患者さんを特定できる個人情報は含まれません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否することを保障いたします。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1 和歌山県立医科大学医学部小児科学講座 担当 垣本信幸
TEL：073-447-2300(代表) E-mail：kinkikd@wakayama-med.ac.jp